

国際学会発表と共同研究先訪問の報告

蛋白質研究所超分子構造解析学研究系

D1 東浦彰史

高分子科学専攻インタラクティブ大学院教育の支援を受け、国際学会での発表と共同研究先への訪問を行った。

8月6日から11日にベルギーのルーベンで開催された 23rd European Crystallographic Meeting に参加し、ポスター発表を行った。ヨーロッパの結晶学の最先端に触れることができ、有益な発表を行うことができた。また、様々な研究に関するアドバイスを受けることができ、今後の研究に広がりがあった。

8月12日から14日にかけて、共同研究先であり高分子科学専攻出身者が博士研究員として勤務しておられるスウェーデンのカロリンスカ研究所を訪問した。共同研究に関して、有益なディスカッションを行うことができた。研究所は非常に大きな施設であり、研究の分業化が徹底されており非常に研究に適した環境であるということを感じた。

最後に、8月16日から21日までカナダのケベックシティで開催された 11th International Conference on Crystallization of BioMacromolecules に参加し、ポスター発表を行った。普段参加する結晶学会とは異なり結晶成長を主に取り扱う学会ということもあり、新鮮で新たな知識を得ることができた。また、他の国の学生との交流もでき、非常に有意義であった。

国外での活動により、多くの刺激を受け、これからの研究活動にも非常に有益であったと考えている。最後に、このような貴重な機会を与えていただいたことに深く感謝しています。



左 ; ECM 会場 Leuven の街並み、右 ; ICCBM 会場 Laval Univ.の遠景